協議会の新構想「グリーン成長構想（R4～13年度）」の推進

＜構想のポイント＞
○大館北秋田地域林業成長産業化協議会の目的である、本地域の充実した森林資源の最大活用と資源循環の確立による“森林資源の「循環の輪」の創造”を基本理念とし、令和３年６月に閣議決定された「森林・林業基本計画」に掲げる「森林・林業・木材産業によるグリーン成長」を目指します。

構想に掲げる５つの柱と取り組みポイント

1　森林資源の適正な管理・利用に向けた取り組み

・再造林率を向上させるための仕組みづくり
・国産材需要の高まりに応えるための森林集約化や木材生産性向上による安定供給化
・安定的な木材生産を支えるための路網整備の推進　など

2　「新しい林業・木材産業」に向けた取り組み

・森林情報の高度利用に向けたレーザ計測等の推進とデータ利活用
・スマート林業普及に向けた人材育成とＩＴ産業等との連携
・ＩＣＴを活用した木材の生産流通管理の導入　など

3　森林資源の地産地消によるまちづくりへの貢献

・住宅や非住宅分野での木材利用促進
・新しい木質部材の活用を提案できる木造設計者育成
・家具など生活関連分野等での木材利用促進　など

4　地産外商による木材産業の競争力向上

・都市部自治体・企業との連携体制の構築
・秋田スギや広葉樹製品の積極的なＰＲ活動
・「森林認証材製品供給」等による木材需要開拓　など

5　森林・林業・木材産業の新たな価値づくり

・「AKITASUGIツーリズム」等による観光客需要の拡大
・ワーケーション等における森林空間活用
・広葉樹、特用林産物など地域資源の活用 など

構 想 表 紙